

平成16年1月30日(金)

○ 開 会 9時59分  
○ 企 画 局 10時00分  
○ 説 明  
○ 質 疑・質 問 10時24分

問 合併問題によって実施計画が随所で変わるのではないかと思うが合併問題については触れていない。どのように考えているのか。

答 実施計画(案)では「市町合併の動向などを踏まえ、必要と認めるときは、所要の改定を柔軟に行うもの」という表現になっている。合併になると人口や地形など基本的な全部変わってくるので、総合計画自体の見直しが必要となってくる。今のところ何町と合併するということが具体的に見えていないので、今のままで進めさせていただく。

問 提出された市民意見の中に、「マクロ指標を計画に織り込んで計画の成果を把握できるようにすることが重要」とあるが、市の考え方では「実施計画は、具体的な行動計画となるもので、個々の事業の効果を検証する場合に、マクロ指標と直ちに関連するわけではない」としており、実施計画では全く触れていないがどのように考えているのか。

答 計画を立てるときには過去の数値、現在の数値をベースにおき、将来その数値がどう動くかという読みが大事になってくる。今回は3年目、4年目なので大きな変化はないので今のままやっている。過去のデータの伸びの率をそのまま伸ばすというのではなく、必要に応じて修正していく。また第1次の検証で、なぜできなかったか、なぜ目標と達成できなかったかということの一つ一つ押さえていかなければならない。

問 総合計画は将来の姫路の都市像を描いているので、合併に伴う将来の都市ビジョンを織り込めるのではないか。例えば政令指定都市を目指すなどである。難しいか。

答 今日のご意見を持って帰って検討したい。

問 市政出前講座の実施については自治会や地域で活動されているような団体で依頼すると思うが、例えば、政治家の後援会等で勉強会をやるという時に公務として職員に来てもらうことはできるのか。

答 市民参画室で現在詰めているところで、4月に向けて準備をしている。政治色の強いものについてはやはり問題があるのではないかと思う。市民の側に立ってそれが本当に市民のためになるのであればいいが、講座が政策に使われるのでは目標と違ってくるので慎重に扱うべきだと思う。持ちかえって点検してみる。

要 望 先日神戸の市議会議員が市役所職員を呼び寄せて駅前でいろいろ議論をしたようである。自分の集票のためでなければいいののかなと思った。ガイドラインをつくってもらって、できるようなら個人的にも活用したいので検討をお願いしたい。

問 小人数教育の推進が新規で挙がっているが、小学校低学年に加えて新規が出たのか。

答 小人数教育は第1次では出ていなかったのが新規にあるということである。予算に関しては審議中である。制度の内容、予算措置については個々の事業課で論議がなされるものである。

問 市民意見について、実施計画をインターネットでダウンロードするだけで時間もかかると思う。個人の特定はできないが、意見を出された11人はどのような人か。また、年代や男女比やメールが何件とかいうようなことも知りたい。

答 メールで6件、手紙が4件、ファクスが1件である。男女比では男性が8件、女性が3件である。

問 5月の祭りはどこに載っているのか。

答 重点施策の観光資源の保全・開発の部分であって、祭りとは書いていない。

- 問 実施計画推進のエンジンは職員であるが第1次の時にこんなものがあったかという職員もいた。こんなことではいけないと思うがどうか。
- 答 それは残念なことであってはならないことである。周知徹底を図らなければならない。
- 問 基本姿勢の中で評価や態度など職員に対するメッセージがない。内部の真摯な分析が必要と思うがどうか。
- 答 職員の中での分析・評価について総務局とまた調整していく。
- 問 完了の時期を明確にしないとしっかり取り組んだということにならないと思う。できるだけやる、というのではなくこれだけはやる、というふうにしないといけないと思うがどうか。
- 答 時期の明示については目に見えない部分もあり、一概にいつまでと言えないものもある。
- 要望 数値を出せるものと出せないものがあるのはわかるが、数値で出せるものは出すべきだと思うので考えてほしい。
- 問 各事業局と企画局がどれくらい協議したのか。また企画の担当は何人か。
- 答 企画の担当は4人である。各局それぞれに調書を依頼し、考え方のすり合わせを随時やっている。それを何度も繰り返している。
- 問 複数の部局にまたがるテーマの場合はどのようにすり合わせをしているのか。
- 答 企画局で両者が寄り、三者で協議してつくっていく。
- 問 財政との関係はどうなっているのか。
- 答 主要施策については事前にすり合わせをしている。
- 問 製本されたものは職員にどのくらい渡しているのか。
- 答 係に1冊配っている。欲しい職員には個々に渡している。
- 問 先程も話が出たが、職員が実施計画について知らないということがある。職員に1冊ずつ渡して、今自分が配置されているポジションのことについてよく勉強しておくようにし、皆が分かってくようにすべきだと思うがどうか。
- 答 1冊が相当分厚い。職員は各所属の部分を知りたいということになると思われるので、その部分をコピーしてもらうことになるだろう。いずれにしても各職員に周知徹底するように考える。
- 要望 局長の言いたいこともよく分かるが、市長や助役にも話をしてもらって考えてほしい。実施計画の第2段階で大事なところなので特に要望しておきたい。また、実施計画の冊子をつくる際には見やすい優れたものにしてほしい。
- 問 市民意見が何十項目について提出され修正が加えられたが、意見を取り入れ修正しようというのはどのように選択したのか。
- 答 内容を踏まえ、各局と調整し、入れられるものは入れようということにした。
- 要望 出した意見が反映されれば、市民も意見提出しようという気になると思う。全ての意見を反映するのは不可能だが、市民がやる気になるような対応ができるようにぜひ考えてもらいたい。
- 答 意見に対してはこちらの考え方を付して公表することになっているが、もう少し公表のやりかたについても考えていきたい。
- 要望 同じようなことが市政モニターにも活用ができるのではないかとと思うが、上手に活用する方法を考えてもらいたい。
- 問 提出された意見の中でみゆき通りでのイベントについて事細かに出されているが、どう思うか。
- 答 市としてはイベント等の助成をやってきて魅力ある商店街づくりということに取り組んでいるので、その取り組みの中で意見の趣旨を踏まえながらやっていきたい。
- 要望 これまでいろいろやってきたように書いてあるが、これではマンネリ化する可能性

もある。市の考えだけが正解ではないのでよく考えてやってもらいたい。

問

実施計画の第4章「活力あふれるたくましいまち」のところに対する市民の期待は大きいと思う。市長が「変える」ということで選挙戦を戦ったのだから、市民に具体的にわかりやすい項目を打ち出したらどうかと思うがどうか。

答

選挙については行政側は論及できない。新市長になってから今の経済情勢等を考えられ、短期にできるもの、長期になってもいいからやりたいものということをよく言われている。重点施策、新規事業については資料3、4につけているが、いずれにしてもできるものからやっていきたい。第2次実施計画は三ヵ年であるが、これ以外にもやっていかなければならないことは当然でてくる。そのあたりは執行上肉付けをしいいものにしていく。

委員長

各委員から出された意見、要望を取り上げていただいて、より良い実施計画をつくっていただきたい。

○

終了

11時22分

○

閉会

11時22分